

平成 13 年 5 月 8 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 13 年第 4 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

| | | | |
|-------|---------------|-------------------|-------|
| 調査期間 | 流況調査 | :平成 13 年 4 月 17 日 | |
| | 流況調査 | :平成 13 年 4 月 23 日 | |
| 調査海域 | 伊勢湾 | | |
| | 別図「流況調査 測点」参照 | | |
| 調査船 | 測量船「いせしお」 | | |
| 現地調査員 | 水路部水路課海象係長 | 木村 琢磨 | |
| | “ “ 海象係員 | 福良 博子 | |
| | 測量船「いせしお」船 長 | 山本 常夫 | |
| | “ “ 機 関 長 | 石原 信雄 | |
| | “ “ 主任機関士 | 吉岡 直行 | |
| | “ “ 航海士補 | 渡部 千尋 | |
| | 京都大学大学院生 | 山尾 理 | |
| | “ “ | 高志 利宣 | |
| | “ “ | 赤嶺 里美 | |
| 調査項目 | 流況調査 | :水温・塩分 | |
| 資料整理 | 海象係長 | 木村 琢磨、海象係員 | 福良 博子 |

2 観測経過

4月17日は、St.6 及び St.7 付近が南よりのうねりのため、甲板作業に苦慮したが、その他の測点では天候・海上模様ともに良く、全測点の観測を実施することができた。

4月23日は、天候・海上模様とも良く、また、4月17日の結果をもとに、St.2 を中心とする伊勢湾横断測線の4測点を追加したうえで、全測点の観測を実施することができた。

3 海況（成果は別図参照）

流況調査（伊勢湾）

4月17日

水温： St.4～6の表層付近が平年に比べ2程度高く、その他の地点においては平年に比べ1程度高かった。

St.2～3の中層付近に低温水が見られた。

塩分： 各測点の下層はほぼ平年並で、その他の地点は平年に比べ1程度高かった。

また、St.2及びSt.3の中層付近に高塩分水が見られた。

4月23日

水温： St.3～4の中・下層は平年に比べ3程度高く、St.1～3の表層は平年に比べ1程度高かった。その他の地点は平年に比べ2程度高かった。

また、St.2付近の中層において、愛知県側から三重県側へ高温水の進入が見られた。

塩分： St.1の表層を除くSt.1～5の上層は平年に比べ2～3高かった。

St.1～2の中層は平年に比べ1程度高かった。

その他の地点はほぼ平年並みであった。

三重県側表層に河川水の流入による低塩分水は見られなかった。

4月17日と23日の比較

St.1の表層を除きSt.1～5の上層が高塩分水化していた。

St.1の表層が低塩分水化していた。

St.6～7の中・下層が低塩分水化していた。

St.2～4の中・下層が低温水化していた。

*使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。